

かわさき議会の情報

No.206

発行日／平成29年4月30日
発行／川崎町議会
編集／議会広聴・広報委員会



「チョコえもん」

「わくわくどきどき入学式」

23P

特別委員会設置
議員定数の見直しを

11P

要望決議
安定した財政運営に向けて

6P

総括質疑
H29予算のことが聞きたい

2P

主な事業・ピックアップ
夏はスカツとかわさきまち



3月 会議

3月会議は、3月7日から17日までの会期で開きました。町から提案された、セントメリースキー場のスターライトコースにオールシーズン利用できるグレンデを整備し、観光・スポーツの拠点にする総合整備計画の策定案1件、平成29年度予算案8件、条例制定・改正案11件、平成28年度補正予算案6件を審議し、すべて原案どおり可決しました。

平成29年度の予算総額は、一般会計52億5000万円・特別会計を合わせて95億2760万円と、前年度より6149万円の減となりました。

一般質問では、10人が町政を質しました。^{ただ}

辺地
整備

事業
アップ

オールシーズン滑走 思い実現へ
1億6680万円

子育て
支援

医療費支援18歳まで
3760万円

夏は
スカーフとかかわりま

町営住宅 整備



本年度3棟分
1億1480万円

地域おこし協力隊



町PR目的に
800万円

主な ピックアップ

育苗 ハウス



農業生産基盤整備に
600万円

有害鳥獣 処理



処理施設建設に
3570万円

レイクサイド マラソン



交流人口増加に
400万円

3
月
会
議

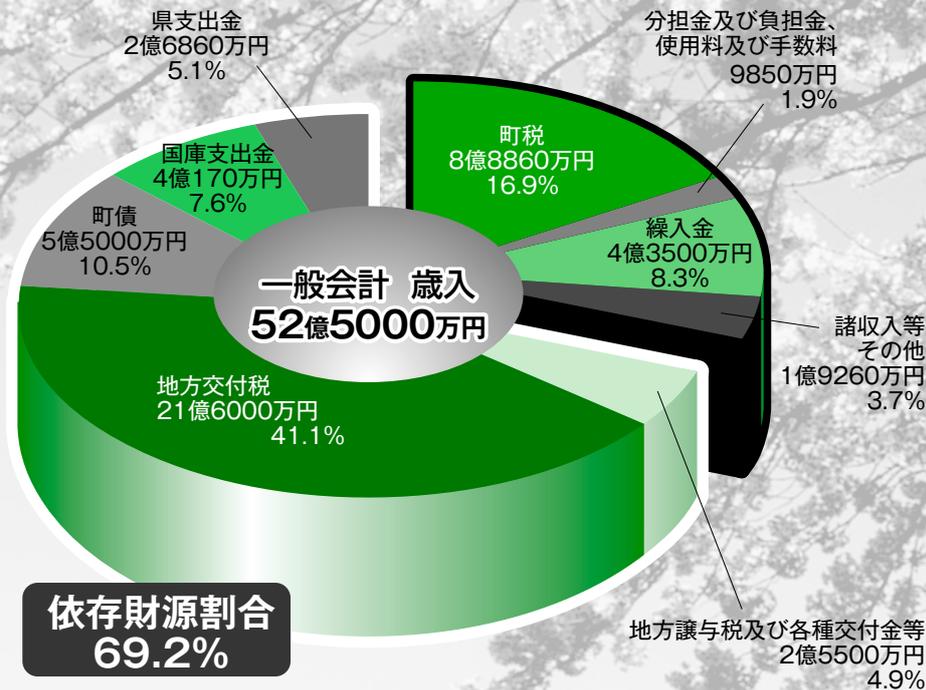
2億2000万円



歳入 予算のあらまし

前年当初予算に比べ1億6000万円（3%）の減少となりました。歳入は、自主財源割合が0.6%の増加（町税が0.9%増加）となっています。国庫支出金は、町営住宅整備事業で2.5%減少しています。また、町債（借金）が1.2%増加しています。

**自主財源割合
30.8%**



**依存財源割合
69.2%**



- 町債** セントメリースキー場グレンデ整備等で4600万円増
- 国庫支出金** 町営住宅整備事業は残3棟分により1億4400万円減
- 町税** 事業所勤務者の所得税向上により2200万円増

一般会計当初予算の推移

単位: 億円



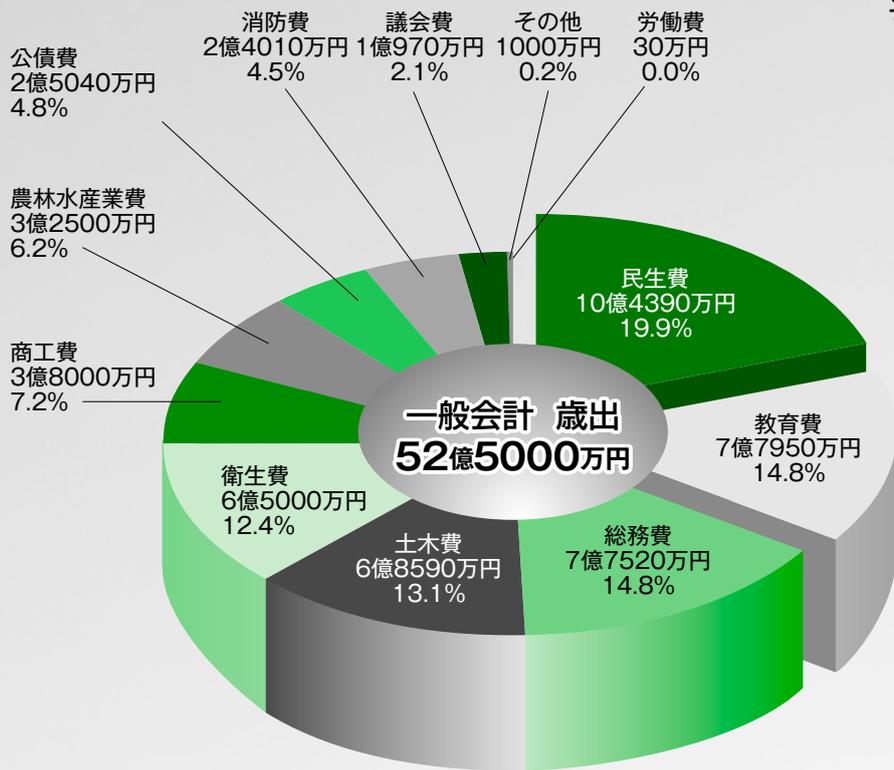
一般会計

新規重点事業に

歳出予算のあらまし

歳出は土木費（町営住宅整備費）が30.8%、衛生費（仙南クリーンセンター負担金等）も12.3%減少しています。また、商工費（セントメリースキー場整備）は149.1%、農林水産業費も新たな事業のため12.5%増加しています。

前年度同様に民生費の占める割合が最も大きくなっています。これは、国の施策による社会保障費、および国民健康保険や介護保険特別会計への繰入金が多額となっていることが要因となっています。また、地域おこし協力隊や川崎レイクサイドマラソン事業に予算計上しています。



H29年度 特別・企業会計予算

| | |
|---------------|------------------|
| 国民健康保険特別会計 | 11億4800万円(0.4%減) |
| 後期高齢者医療保険特別会計 | 8770万円(0.7%減) |
| 介護保険特別会計 | 10億5343万円(2.6%増) |
| 温泉事業特別会計 | 1404万円(3.8%増) |
| 公共下水道事業特別会計 | 4億4275万円(15.4%増) |
| 病院事業会計(支出) | 9億2205万円(0.6%増) |
| 水道事業会計(支出) | 6億 963万円(1.9%増) |

土木費

衛生費

商工費

農林水産業費

町営住宅整備事業は3棟分となり3億540万円減
仙南クリーンセンター完成により9100万円減
セントメリースキー場整備などで2億2750万円の増
有害鳥獣解体処理場建設、育苗ハウス建設補助事業等で3620万円増



▲手本にしてほしい支倉スイセンロード

コースの景観整備を

沼田議員

問 今年はレイクサイドマラソンが行われます。コース沿いの景観整備が必要だと思いますが。

前向きに検討

生涯学習課長

答 全国に発信し定着させたいので、気持ちよく走っていただけるよう検討していきます。

ここが聞きたい

質疑

平成29年度の各種会計当初予算は、各会計の概要説明があった後、予算に係る総括質疑が行われました。質疑は多数ありましたが、ここではその一部を紹介します。

低学年からALTを

生駒議員

問 小学校低学年にもALTを交えた英語教育が必要だと思います。どのように考えていますか。

国語に力点を

教育長

答 ALTを交えた授業は5・6年生が受けています。

低学年から英語の授業は行っていますが、基本となる国語の授業に力を入れたいと思います。

基金の運用を

的場議員

問 基金の運用について、民間の証券会社と組んで基金の運用をしたらどうか伺います。

判断が難しい

町長

答 判断が難しいが、今後このことも念頭にに入れておきます。

取り崩しが目立つ

神崎議員

問 財政調整基金の取り崩しが目立ちますが、長期計画を立てるべきだと思いますか。

計画が立てづらい

町長

答 国からの交付金の予想がつかないので、財政計画を立てづらい側面があります。

施設は万全か

大沼議員

問 こども園のアレルギー対策のために、別室を設けて対応すべきだと思います。施設の改修の考えは。

慎重に対応したい

教育長

答 施設改修は、予算や職員等の問題もありますので、慎重に対応したいと思います。



▲みんな一緒に運動会

健康寿命を延ばすには

眞幡議員

問 健康寿命を延ばすために、住民の健康づくりや検(健)診事業に力を入れた取り組みは。

スポーツを推進

保健福祉課長

答 医療費抑制の観点からも、町民の健康づくりは大切です。スポーツで健康増進を図る推進をしていきます。



▲スポーツで健康増進を

平成29年度 予算審議

総括

健康管理の対応は

佐藤(昭)議員

問 現在4人の職員が病欠しています。健康管理やケア等、どのような対応をしているか伺います。

体調に配慮

副町長

答 職員の健康管理には十分気を付けています。また、各課長にも体調に配慮するよう指導しています。

徴収率アップを

佐藤(新)議員

問 当町は徴収率が県内最下位ということで、今後どのような対応をとるのか伺います。

夜間訪問と連絡を密に

税務課長

答 対策本部を立ち上げて夜間訪問をして徴収していきます。また、滞納者とはこまめに連絡を取るようしていきます。

町営住宅建設材は

神崎議員

問 昨年の3月会議で、町営住宅の建設に町産木材の使用を要望決議しましたが、対応はどうなりましたか。

県産材で対応

建設水道課長

答 乾燥したストックがなく、時間的な理由から町産材に限定せず県産材ということに対応しています。



▲完成間近な北川原山の町営住宅

委員会 詳細審査

平成29年度の各会計予算を審議するため特別委員会を設置しました。委員長に佐藤達也、副委員長に眞幡善次を選任し、3月14日から16日にわたり詳細に審議しました。そのなかで出された質問の一部を紹介します。

総務課

▼前川西部の防火水そう



FM装置とは？

神崎委員

問 臨時災害放送局用FM装置とはどのようなものですか。

災害時の連絡網強化

総務課

答 東日本大震災を教訓として、個人宅への伝達にはFMラジオを活用します。周波数は、テレビのデータ放送等で町民にお知らせします。

防火水そうの要望は

佐藤(新)委員

問 防火水そうの要望は、各行政区からどれくらいありますか。

設置する順位は、水利がないところを優先にすべきと考えますが。

合計7件です

総務課

答 支倉2基、碓石2基、前川1基、中町1基、荒羽賀1基の合計7基です。防火水利台帳を見ながらバランスよく対応します。

LED化の計画は

佐藤(昭)委員

問 防犯灯LED化の全体計画と採算面を伺います。

随時検討をしています

総務課

答 防犯灯のLED化は随時検討をしています。スズラン型の街路灯は、行政区の負担も軽くなることから、一斉に改修したいと考えています。採算的には60〜65%安価になります。



▲スズラン型街路灯

税務課・国土調査室

事業完了での課税か

佐藤(昭)委員

問 地積調査課税は平成30年となっているが、事業完了となりますか。

進捗率は75%

税務課

答 進捗率は75%です。平坦地は95%以上完了しています。税収は概算見込みで約2300万円増額となります。

農林課

受給者の内容は

高橋委員

問 青年就農給付金を受けている方は何人ですか。その方たちは独立できる状況にありますか。

少しずつ伸びている

農林課

答 6人です。所得額が250万円を超え給付金が支給停止となっている方もいます。ほかの方についても少しずつ収入は伸びてきています。



▲繁殖牛の就農者も

3 予算特別 3日間



佐藤達也委員長

地域振興課

▼じゃっぼの湯前案内板



**最大の効果を
真幡委員**

**外国語表記は
的場委員**

問 当該看板は、イン
バウンドを視野に入れ
外国語表記をしますか。

**3カ国語程度の表記
地域振興課**

答 3カ国語程度の表
記を考えています。設
置場所は、青根の駐車
場と山形に向かい青根
に左折する箇所です。

地域振興課



▲プレミアム商品券

保健福祉課

**緊急システム
神崎委員**

問 緊急システムの利
用者数は、また、設置
できる対象者の条件は。

**2月末現在で23人
保健福祉課**

答 2月末現在で23人
設置しています。高齢
者のみの世帯、1人暮
らし、障がい者が対象
になります。

介護保険特別会計

**要支援介護の認定数は
真幡委員**

問 要支援、要介護の
認定者数は。

**現在536人です
保健福祉課**

答 直近で536人受
けています。65歳以上
の1号被保険者数は
3013人で認定率は
17・8%になります。

水道事業会計

**進捗状況と完了は
佐藤(昭)委員**

問 石綿管更新事業の
進捗状況は何%ですか。

**32年度まで予定
建設水道課**

答 町地区は約80%で
す。29年度には完了予
定となっています。ま
た、青根別荘地区は32
年度まで予定しており、
それが完了すると町内
全ての石綿管が更新さ
れることとなります。



▲裏尻地区 水道工事

3月会議

ここでは、条例改正3件と請願1件のあらましを紹介いたします。

こども園設置条例

子育て世代に配慮 開園時間朝7時に

■提案理由

働く親世代の就労形態の変化や他市町への就労者のために、園児の受入開始時間を30分早めるよう改正するものです。

■質疑

佐藤(昭)議員

問 保護者からの具体的な要望内容と利用対象となる件数を伺います。

幼児教育課長

答 昨年アンケート調査を行ったところ、46人の保護者より利用したいと回答がありました。



▲こども園運動会

水道事業設置条例

給水区域を追加 向古関・松峯など

■提案理由

水道事業の給水区域に新たな区域を加えるために、改正するものです。

追加する区域は、向古関・松峯・薬師堂・薬師堂山根下で、給水世帯は合計15世帯です。

■質疑

佐藤(昭)議員

問 資料によると、地区からの要望書は、平成28年となっています。以前はなかったのか伺います。

建設水道課長

答 震災後から水量が減少する状況がありました。最初の要望は、平成27年度に出されました。

敬老祝金支給条例

町外から施設へ転入 最高10万円支給

■提案理由

百歳を迎えた方に対し支給している特別敬老記念品について、高齢者施設入所者が対象となった場合の規定を新たに追加するものです。

条文抜粋

老人福祉法・介護保険法で定める施設サービスなどを受けることを目的として、他の市町村から転入した者の特別敬老記念品の額は10万円とする。

請願

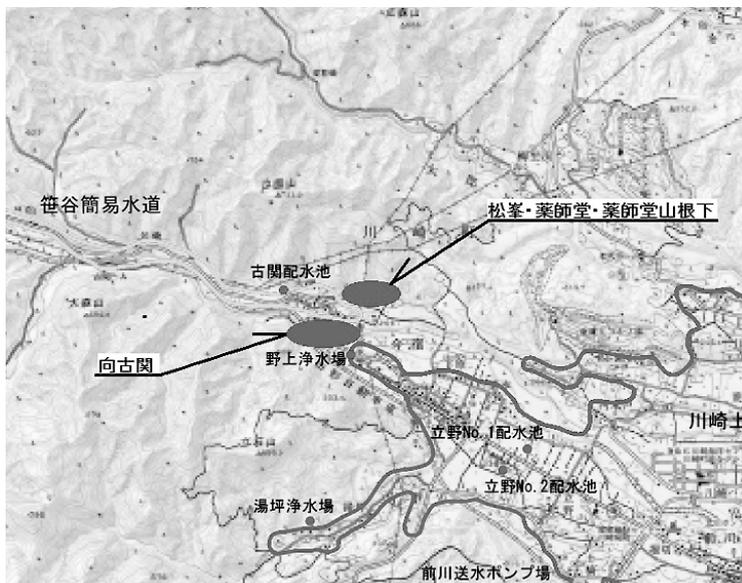
農業者戸別所得補償制度の復活を求める

■請願理由

農業者戸別所得補償制度の復活を求め、意見書を政府関係機関へ提出を求める請願です。

■審議結果

①所管する産業建設教育委員会に付託することを決定しました。
②所管委員会では、調査を要するため継続審査とすることを決定しました。



▲追加される給水区域

H29 会計予算に関する



要望決議



要望決議

健康推進

2030年問題に向け、健康寿命が町の活力となることから、保健事業、予防対策事業の充実を図ってください。医療費抑制の観点からも**町民の健康づくり**を推進してください。

拠点整備

辺地整備計画で夏場対策としてスキー場整備が行われるが、「るぽわかわさき」と連携によるイベントで、新たな観光スポットとなるよう**拠点整備**を望みます。

開発支援

特産品開発は、町民との協力体制が不可欠であるので、町は販路の確立など最大限の支援を望みます。

住民寄与

職員の職場環境や健康管理に最善の注意を払い、**住民サービ**スに寄与してください。

基金運用

基金は、地方自治体向け運用を他自治体で行っているの調査し、事業目的に充当される有効的な用途について検討してください。

財政運営

人口減少や高齢化により、自主財源および地方交付税が減少していくと予測されます。財政運営は、**税收確保**と事業精査を検討してください。



- ◆ **佐藤 昭光 議員** 13
 - (1) 町民バスの教訓は
 - (2) 愛されるスキー場目指せ
- ◆ **沼田 長一 議員** 14
 - (1) 鳥獣被害対策
 - (2) 免許自主返納者への支援
- ◆ **佐藤 達也 議員** 15
 - (1) 自主財源向上の具体策は
 - (2) 各事業の多様化による課題点を
- ◆ **石野 博之 議員** 16
 - (1) 定住化、活性化政策
- ◆ **神崎 安弘 議員** 17
 - (1) 農業振興
 - (2) 旧小学校跡地利用
- ◆ **遠藤 美津子 議員** 18
 - (1) 不妊治療費の軽減
 - (2) 食品ロス削減の取り組み
- ◆ **的場 要 議員** 19
 - (1) 施政方針に係るスキー場の将来
 - (2) 施政方針に係る観光振興
- ◆ **眞幡 善次 議員** 20
 - (1) 地域包括ケアシステムの構築
 - (2) 高齢者支援の充実を図れ
- ◆ **高橋 義則 議員** 21
 - (1) 国民健康保険税の一部改正
 - (2) 県道 160 号線の道路整備
- ◆ **大沼 大名 議員** 22
 - (1) 町民の声への対応
 - (2) かわさきこども園の施設設備

10人の議員が質問

町政を問う

一般質問は、町政に関して議員が質問を行い、新たな施策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。

問 バス訴訟で教訓を得たのか

答 違反無いよう確認を徹底

平成26年から2年余続いた町民バス訴訟が終結しました。最高裁は仙台高裁判決を支持するとして上告を受理しませんでした。高裁判決では、従業員に社会保険をかけていなかったなど、「違法性は軽くない」と厳しく指摘しています。

問 訴訟になった理由を伺います。

答 町長

町民バスの受託業者が、運転従業員に社会保険をかけていなかったため、町は契約違反を理由に一カ月の指名停止処分をしました。しかし、社会保険料相当額を町に返すべきと住民訴訟に発展しました。



▲町民の安全安心を乗せて走る町民バス

問 「委託契約に反する」とする高裁の指摘に、どう対処しましたか。

答 町長

免許証や雇用保険証の写しの提供を求めるなど、契約違反の無いよう、確認を徹底しています。

問 スキー場指定管理料どうする

答 夏場営業を加味して算定

答 町長
長期見通しが困難なので必要はないと考えます。

問 町営なら多額の運営費がかかります。指定管理料は9年間、年1600万円が変わりません。管理者はがんばっていますか、どのように考えていますか。

答 町長

オールシーズン営業の収益を加味して、適正な指定管理料を算定します。



▲プラスノーが整備されるセントメリースキー場

問 当該コース557mのリフトに300mのゲレンデ整備では、足りないのではないですか。

答 町長

不便の無いよう工夫します。

※プラスノーとは、雪に似た感覚で滑ることのできるプラスチック製のプラスノーと呼ばれるものです。



佐藤 昭光 議員



沼田 長一 議員

問

町独自で支援拡大策を

答

29年度より追加支援策



▲イノシシが荒らした農地

全国的に鳥獣被害が拡大しており、平成26年度には200億円を超える被害金額となっています。当町でも被害額は拡大しています。捕獲隊増強策について伺います。

問

鳥獣被害のなかでイノシシによるものが深刻です。電柵設置対策等を行っています。が、被害額は減る傾向になく、捕獲数を増やす以外の対策はないと考えます。新規狩猟免許取得者と捕獲隊の支援について伺います。

答

町長

新規取得者への追加支援策として、捕獲隊員になるまでの2年間、狩猟税と県手数料を支援します。また、捕獲隊員の狩猟免許更新にかかる手数料の支援を、今年度より行っています。

問

捕獲隊員の待遇について、他の町村で非常勤の特別職として任命していますが、当町での考えを伺います。

答

町長

消防団のように長い間にシステム化されていない分野ですので、検討が必要と考えます。

問

自主返納できる対策を

答

町民バスの継続運営で

県内における高齢者の事故が10年前に比べ2倍の発生件数となっています。県警では免許の自主返納を呼び掛けています。町としての支援策について伺います。

問

運転技能の低下や家族からの反対で免許返納を考える方が増える予想されます。首都圏のように公共交通手段が発達していない当町では、安心して返納できない状況です。新たな支援策はありますか。

答

町長

自主返納者に対し当町の支援策として、1年間町民バス無料乗車証を交付しています。高齢社会の中、地域公共交通として、ますます重要になる町民バスの運営を継続していきます。



▲安全願う四つ葉のクローバー

問 財源をどう確保するのか

答 創生総合戦略の取組みで

施政方針では、税・使用料収納の利便性向上と徴収対策や企業誘致対策の考え方が示されました。しかし、財源の向上策について具体的な策は示されていません。そこで次の点について伺います。

答 町長

問 町内既存の企業・自営業者に対する政策は検討していますか。

現時点での政策は「商工会活動への財政・人的支援」、「中小企業振興資金による貸付」、その他各会合での意見交換などの取組みを行っています。一定の成果があるので、今後は、ニーズを踏まえ独自の支援策の必要性を検討します。

問 就労人口の減少が財源確保に影響しますか、今後をどう考えていますか。

答 町長

減少は、地域の活力が失われますので創業を促進する意義は大きいと考えます。町では、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、起業家発掘やアドバイスを行うなどの取組みで地域活力を目指します。

問 経産省では、企業後継者の育成に関する動きを昨年より見せているようです。この動きに対応すべきと思います。見解を伺います。

答 町長

指摘のとおり、支援策が拡充されている状況です。国・県の支援制度を活用しながら、これまでの支援と町の創生総合戦略による取組みを定着させたいと思います。また、商工会や金融機関との連携を図り、対応したいと思えます。

問 課題を見逃さないために

答 情報共有と検証を図る

答 町長

問題点が見逃されることのないよう、情報共有を図っています。各部署の調整が必要なのは、「まちづくり検討委員会」などを開催し連携を図っています。日ごろから住民ニーズの把握に努め、原因と改善策は、PDCAサイクルで検証していきます。

問

答

問 地方創生などが政策としてある事業は多様化し、単独なものや関係する部署が複数あるものがあります。このことで懸念する点は、「小さな問題点を見逃すことになっていないか」ということです。一度整理してはどうでしょうか。



▲PDCAサイクル



▲地域おこしの拠点スプリング



佐藤 達也 議員



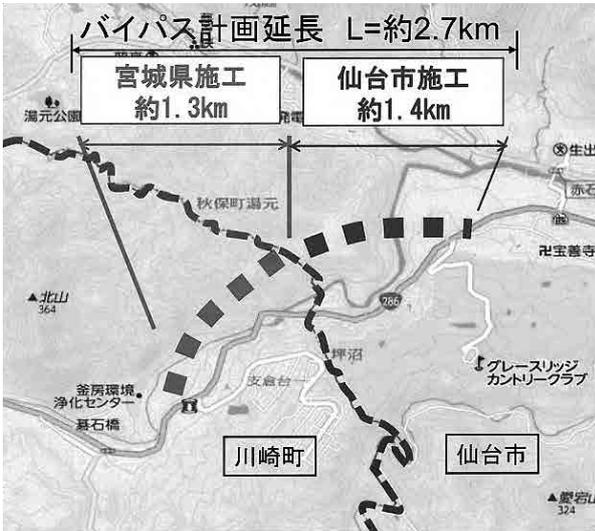
石野 博之 議員

問 目指すまちづくりは

答 五感で気づける魅力



▲心がいやされる大自然



▲計画を地域住民に説明

問 人口確保の政策について所信を伺います。

答 町長
人口減少を抑えるには、安心して結婚や出産の環境を整えることです。

また、若い人の町外転出を抑えるには、教育・保健・医療・福祉・公共交通の利便性など、総合的なまちづくりに取り組むことだと考えています。

問 国道286号を活用した定住・活性化を図るため、川崎・仙台間の公共交通整備による利便性向上について考えを伺います。

答 町長
仙台市地下鉄へのアクセスは、現在のバスの利用状況からみて実現は難しいです。今後とも公共交通を担っている関係者と意見交換しながら、利便性の向上に努めます。

仙台市地下鉄へのアクセスは、現在のバスの利用状況からみて実現は難しいです。今後とも公共交通を担っている関係者と意見交換しながら、利便性の向上に努めます。

問 ベッドタウン機能の強化による定住化促進について伺います。

答 町長

仙台から車で30分の通勤距離圏内にあるものの、この町で暮らす魅力になかなか気付いてくれないようです。町では移住・定住を促進するため空き家バンクに力を入れていきます。

問 道の駅整備による観光や商業の活性化策について伺います。

答 町長

町が主体的に大きな財源を投じて道の駅を整備することには、十分な検討と慎重な判断が必要と考えます。

問 仙台市に隣接する川崎町のイメージ戦略について伺います。

答 町長

四季折々のさまざまなイベントを催し、この町の魅力を五感で気付いていただけるよう努めていきます。

問 生産コストの低減策は

答 集積支援で効率化を図る

当町は、ほ場整備率が低く、所得を確保するためコスト低減を図ることが必要です。次の3点について見解を伺います。



▲苗づくりがスタート

問 集落農業、法人化は不可欠を考えますが、推進策を伺います。

答 町長

水稲、園芸、畜産の部門を超えた連携による新たな組織の話もありますので、農家の思いを組み込んだ施策を展開したいと考えます。

問 稲作のコスト低減策をどのように進めていきますか。

答 町長

国の事業を活用し、コスト低減に係る支援を行っております。今後、減収補てん制度の構築も視野に検討します。

問 担い手への農地集積方法により効率化が図られます。従来への貸し借りを含め誘導する考えはありますか。

答 町長

町独自施策で1ヘクタール以上の団地化集積に対し、10アールあたり1万5000円を助成しています。制度の浸透や意識啓発を行ってまいります。

問 施設活用は重要なのでは

答 文科省の承認を得てから

一昨年「旧小学校活用方針」を定め公募し、優先交渉事業者を決めてまいります。次の点について伺います。

問 重要案件と考えますが、「施設方針」で述べられていないのはどうしてですか。

答 町長

大変重要と認識しています。学校施設整備に国庫補助を受けていることから文科省に財産処分申請書を提出し、承認を待っています。

問 4校の進捗状況はどのようになっていますか。

答 町長

事業着手は賃借契約後の4月からとなります。各校とも改修、人員確保、営業許可手続きなど一斉にスタートを切ることができません。

問 優先事業者と協議するなかで課題はありますか。

答 町長

その都度課題は解消しています。

契約は5年で考えていますが、事業者は最低でも10年スパンで計画しています。将来の財政負担を考えれば、譲渡も視野に入れておく必要があると思います。



▲どう使われるの



遠藤 美津子 議員

問 治療費に助成を

答 早急に対処

問 不妊治療は患者にとって心身ともに大きな負担を強いられています。ほとんどが妊娠までの多額な自己負担をしている状況です。町として治療費負担を軽減する助成をしてはいかがですか。

答 町長 各市町村においても独自に助成金制度を設けて支援を行ってまいります。少子化問題の対策としても大変重要と考ええます。子供ができて喜ぶ夫婦の笑顔は町の宝です。状況調査を行い早急に添えるように対処します。

問 食品ロス削減を

答 情報収集に努め啓発に取り組む

問 日本では年間2797万トンの食品廃棄物が発生しており、このうちの632万トンが食品ロスと推計されています。

問 教育施設における学校教育や食育環境教育などとおして、食品ロス削減のための啓発について伺います。

答 教育長 学校行事等でも食育を取り上げ、保護者や地域の方々へ啓発しています。これらの取り組みを継続していき食品ロス削減に努めていきます。



▲防災備蓄品



▲おいしい給食のこさずに

問 町民と自治体が一体となった取り組みについて伺います。

答 町長 その内容については十分周知していない状況であり、食品ロスの削減に向けての取り組みは大変重要であると考えます。関係機関からの情報収集に努め、普及啓発活動から取り組みたいと思います。

問 町の防災備蓄食品について食品期限後に廃棄されていたと思うが、今後フードバンク等への寄付等検討してはと思いますが。

答 町長 備蓄品の更新にあたっては、防災訓練時の炊き出し訓練などにおいて使用する予定としていきます。可能な限り廃棄を出さず、このような訓練などで有効に活用する方針です。

問 食品ロスに関しては2省庁にまたがっての取り組みです。町の窓口はどこになりますか。

答 町長 検討して決めていきます。

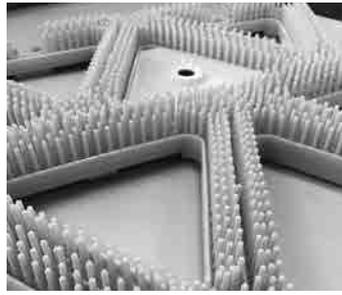
問

宮城県初の拠点を

答

通年型のスポットに

問 温暖化の影響を懸念する意見を伺う機会があります。町長は、今後のスキー場運営をどのように考えているのか伺います。



▲敷設するプラスノー

答

町長

町のイメージ戦略・雇用の場とスキー場は大変ありがたい施設です。今年度オフシーズンでもスキーができる施設の整備を計画しています。何とか維持して、皆さんに川崎町をアピールしたいと思えます。

問

新たな施設整備が進むことで宮城県初のアクティビティ拠点となることが期待されます。そのためには「るぼぼかわさき」との間をとおした連携が不可欠だと考えますが。

答

町長

大自然を満喫できる新たな通年型のスポットとして地域一帯の魅力的な機能の高まりや新たな雇用の創出、消費によって地域経済の底上げが期待できると思います。連携の深まりは不可欠だと考えています。



議員 要 場

問

Wi-Fi環境の整備を

答

補助制度も活用しながら



▲インバウンド協定締結式

問 現在町内施設に設置してあるWi-Fiスポットを時間制限のないもの、また設置個所を増やし、環境の充実を図ることが必要であると考えますが。

答

町長

県では交付金を活用した観光振興策として観光施設やホテル、旅館などWi-Fi環境を整備する際の機器購入費を補助する制度もあります。これらも活用しながら普及充実に図っていききたいと思えます。

問

人口減少社会に突入し、交流人口の拡大は今後も継続的に取り組んでいかなければならず、目標達成の必要条件です。2月に設立されたDMO推進協議会*の取り組みと今後の計画について伺います。

答

町長

インバウンドの人々を「県南地域へ誘致しましょう」ということで、県南4市9町で構成し設立されました。県南地域に新たな流れが生まれ、インバウンド*による観光振興で地域全体に潤いが行き渡るように努めていきます。

*DMO推進協議会

自然や芸術や風俗や食べ物など地域にある資源に精通し、地域とともに観光地づくりを行う法人のこと。

*インバウンド

日本を訪れる外国人旅行者。



眞幡 善次 議員

問

地域包括ケアシステムの構築は

答

新たな体制整備に取り組む

問

高齢者人口が増え、福祉施設の充実や医療・介護・予防・生活支援等の一貫した「地域包括ケアシステム」の構築が急務とされます。当町ではどのように取り組んでいるのか伺います。

答

町長 地域包括支援センターを中心に、介護サービス事業者・医療機関・NPO法人・行政区などの地域組織と連携を図っています。支援できる体制整備に取り組んでいます。

問

笹谷のデイサービスが廃業になりました。別の施設に変わることで、新たな料金が発生し負担増になり、特に身障者にとっては生活に影響しています。助成をできないものか伺います。

答

保健福祉課長 施設・サービスによって料金が違います。介護保険制度のもとで各々運営していますのでご理解いただきたいと思えます。



▲若さを感じさせるプレー

問

高齢者支援の充実を図れ

答

積極的に推進を図る

問

高齢者にとっての幸せは健康で充実した日々を過ごすことです。高齢者の間で活発に行われているサークル活動の推進を積極的に図り、それに伴うミニ大会に対し助成をしたらどうでしょうか。考えを伺います。

答

町長 高齢者の方々が健康で充実した生活を送れるように、さまざまな支援のための各種計画を策定し実施しています。現在、サークル活動に対する助成はありません。

問

健康寿命を延ばすためにも日ごろの健康管理が必要です。町長杯を行ったらどうか伺います。

答

町長 高齢者の活動の推進についてはこれまで実施しているさまざまな事業に対し、積極的に参加していただくように進めています。検討する時間をいただきたいと思えます。

問

国民健康保険税の改正でどう変わるか

答

県が財政運営の責任主体

問 国民健康保険税の県単位化で町の役割はどうなりますか。また、保険税に係る賦課・徴収はどのようになりますか。

答 町長

平成30年度から県が財政運営の責任主体となり、保険税に係る徴収は県から算定された標準保険率によって保険税を決定します。

問 国では平成17年度1700億円投入されました。また、平成30年度から3400億円の国費が支援予定されているようですが、町の国保会計はどうなりますか。

答 町長

県が定める国保運営方針には、医療費の動向と将来の見通し、赤字解消、削減の取り組みなどが設定されます。医療費支出抑制策や医療費適正化を推進することが重要で、支出に連動する適正な対策を講じていくこととなります。



高橋 義則 議員

問

県道160号線の道路整備を

答

県には要望書を提出

公園のイベントなど開催されるときは特に多くの観光客が訪れ、秋保温泉・川崎線の県道160号線を通行する車両が増えていきます。

道路改修について次の点を伺います。

問 地元の方々が狭い道路での散歩は、とても危険だと見受けられます。今後、県道を改修する予定はあるか伺います。

答 町長

県道橋梁に対して昨年9月に要望書を提出しました。また、県南サミットでも知事に要望しています。



▲散歩にも注意が必要

問 今年、川崎レイクサイドマラソン大会も行われます。これを機会に危険な箇所を改修できませんか。

答 建設水道課長

危険なところについては、町でできる範囲の部分は県と協議して進めていきます。



大沼 大名 議員

問

町民の声への対応方針作成を

答

文書化は検討します

町民から寄せられた様々な声は、各課で対応しているのが現状です。担当者が変わっても町民に寄り添った業務運営に反映されるような仕組み作りを、更に充実させることが大切と考えますので、次の点について伺います。

問 各課に寄せられた町民の声や対応結果を、町としてどのように把握しているのですか。また、寄せられた声への対応は、どのようになっているのか伺います。

答 町長

担当係が対応しますが、判断が困難な要望・問題などは課内で協議検討し回答、各担当課が把握しています。予算や県への要望は、各課長から協議検討事項として報告されます。また、回答の難易度で対応を変えています。

問 対応した結果が、町としてふさわしい対応だった否かを、誰が判断するのですか。その場合の最高責任者は誰になりますか。また、町民の声への対応を充実するには、基本的な対応マニュアルが必要と考えますが。

答 町長

対応マニュアルは作っていませんが、担当課長が判断します。責任者は執行機関の長、町長や教育長、各委員会の長になります。対応方針の文書化については、検討します。



▲病院設置の意見箱

問

こども園の増改築は

答

今の施設を活用していく

問 こども園の各教室には、床暖房が入っていますが、園児が昼寝する幼児棟の遊戯室、通称ホールには、床暖房がないので、必要ではないかと考えますが。

か、数年後には幼児数減少もあり、導入は必要ないと考えています。

答 教育長

現在の利用状況でも支障なく利用できています。また導入費用や運営コストの面のほ

問 調理従事者7人の休憩室が3.5畳では狭い状況なので、増床予定はありますか。

答 教育長

休憩室は狭いので、ほかの部屋も利用するようにしました。



▲こども園遊戯室

人口減少を背景に



▲H27年 福島県桑折町議会視察

議発案

議員定数等

調査特別委員会

設置

提案理由

全国の地方議会は、議員定数等の見直しが行われ、当議会でも例外ではないと認識しています。

この状況下にあつて、議員定数等が適正とされる基準や将来人口・財政規模議会運営上の面等から十分な議論を尽くすことが必要なことから提案するものです。

設置のあらまし

- ① 名 称 議員等調査特別委員会
- ② 設置の根拠 地方自治法・川崎町議会委員会条例
- ③ 目 的 議会の適正な議員定数等に関する調査を行う
- ④ 委員の定数 13人(議長を除く)
- ⑤ 調査 項目 議員の定数並びに報酬に関すること

コンクールダブル受賞

宮城県および全国の議会広報コンクールにおいて、「かわさき議会の情報」がダブルで入賞しました。

県では、第2位。入選は平成25・26年に次ぐ受賞、全国では、平成25年度に初応募で「奨励賞」、平成26年度には優秀賞(第3位)、本年度は優良賞(第10位)です。



審査員の講評を一部紹介します。

県講評 204号

住民に議会活動が伝わる編集

可読性の優れた文字組で、住民に訴求情報の印象が残る紙面編集です。

全国講評 200号

議事公開の姿勢と住民視点が明確

見出し写真が目立つ紙面です。もっと上位でもおかしくない実力を備えた広報紙です。

議会広報発行には、これまで多くの町民の方々にご協力いただきました。深く感謝申し上げます。

総務民生委員会 報告

調査日 2月22日

交通安全対策と防犯対策整備

調査事項①

定期点検と住民周知を

【調査結果概要】

平成28年の当町での人身事故は、大幅に増加しています。特に、子どもや高齢者が関係する事故が多くなっています。

町では、年4回の事故防止運動を展開するほか、安全防護柵・道路反射鏡・区画線補修などの交通安全環境整備事業も行っています。防犯対策は、知能犯による犯罪が増加傾向

にあります。町では町民の防犯意識を高めながら、子ども・女性・高齢者を被害から守るため、犯罪が起きにくい環境の整備を推進しています。



▲カーブミラーの点検を

【委員会意見】

昨年、死亡事故が発生した場所周辺は、街路灯が少なく交通安全と防犯上の点で設置することを協議検討してください。また、既存の街路灯・カーブミラーなどは、腐食や視認性を定期的点検で実施し、不具合がある

場合は、早期の対応をしてください。防犯対策は、町民が犯罪に遭わないような啓蒙啓蒙を徹底してください。

調査事項②

国民健康保険の見直し

平成30年度県下統一に向けて

【調査結果概要】

各自自治体の国民健康保険は、被保険者の所得水準の低下や医療給付が高水準で推移しています。町の国保被保険者数は、人口の

29・2%を占め、うち65歳以上の前期高齢者の占める割合は35・8%となっています。国保事業の担う役割は大きいものの、構造的課題解決は当町のみならず全国的な動向か

らも難しい現状にあります。各自自治体が苦慮している状況から、保険制度の安定化と持続可能なものとするため、都道府県単位化で平成30年度から事業を行う予定です。



▲保険証の見本

【委員会意見】

都道府県単位化で、納付金・保険料※の算定・通知は県が行うこととなっています。このことで町保険税※の徴収率に影響しないよう事前に対策を講じてください。県単位以降であっても、医療経費と保険税とが連動する

ので、保険税の急激な上昇を避けるためにも、被保険者への税納付周知をしてください。また、給付費を抑制させるための疾病予防対策を担当部署と協議しながら進めてください。

※自治体により「保険料」あるいは「保険税」と称する場合があります。また県統一の呼称が決定していません。

産業建設教育委員会 報告

調査日 2月23日

調査事項① B&G海洋センターの利用状況 スポーツ環境の整備を

【調査結果概要】

(財)ブルーシー・ア
ンド・グリーンランド
財団により昭和59年8
月に設置され、昭和62
年9月に無償譲渡され
た体育施設です。昭和
59年の開所から町教育
委員会で管理運営して
いましたが、平成21年
からはNPO法人に管
理運営を委託していま
す。利用者数は、年度
あたり5万人強となっ
ています。特に、総合
型スポーツクラブ「運
動笑楽校」の活用に
より、スポーツ活動も
幅広い年齢層で活発に
なっています。

59年の開所から町教育
委員会で管理運営して
いましたが、平成21年
からはNPO法人に管
理運営を委託していま
す。利用者数は、年度
あたり5万人強となっ
ています。特に、総合



▲視察した蔵王町B&G海洋センター

【委員会意見】

B & G 海洋センター
の状況に関し、施設整
備で先進的な蔵王町B
& G 海洋センターを視
察し調査を行いました
。同施設は昭和63年
から利用されています
が、アリーナ（体育館）
を「ゆとりのある競技
環境を」との要望を受
け、観覧席と待機場所
などを整備されたもの
です。
当町においては、ア
リーナの改良要望があ
ることに加え、アリー
ナおよび総合運動場の
照明が老朽化している
ことから、スポーツ環
境の整備確立を図る上
で、総合的な計画を立
て十分検討されること
を要望します。

調査事項② 学校トイレ改修工事の状況 全小中学校整備完了

【調査結果概要】

平成26年に各小・中
学校を現地調査した
際、トイレは和式が多
くを占めていた状況で
した。子どもの学習・
生活環境の改善、さら
には災害時の避難場
所となることを考慮
し、洋式トイレへの改
修を早期に整備される
よう要望していました。

平成27年度は3校
(川崎第二小、前川小、
富岡小)を改修し、本
年度は 残りの3校
(川崎小、川崎中、富
岡中)が改修を終えま
した。改修後のトイレ
は、衛生的で入りやす
い環境となっていました
。なお、現地調査の



▲衛生的で使いやすい洋式トイレ

【委員会意見】

平成27年度は3校
(川崎第二小、前川小、
富岡小)を改修し、本
年度は 残りの3校
(川崎小、川崎中、富
岡中)が改修を終えま
した。改修後のトイレ
は、衛生的で入りやす
い環境となっていました
。なお、現地調査の

際、校舎の補修を要す
る箇所も見受けられま
したので、今後も適切
な対応を要望します。

2月会議

2月会議は2月8日開会し、指定管理者の指定・財産の取得・条例改正・補正予算・人事案件各1件を審議し、すべて原案どおり可決しました。

指定管理

「るぽぼかわさき」4月再開へ

■ 提案理由

新たに指定管理者を選定するため。

指定管理者

住所 川崎町大字今宿字向古関180番地1
商号 株式会社 さかたや
代表者 代表取締役 坂田 政裕

指定管理期間

平成29年4月1日から平成32年3月31日(3年間)

財産取得

セキユリティ強化対策に

■ 提案理由

契約および財産の取得をするため。

取得物件

- 情報セキユリティ強化対策事業機器一式
- ネットワーク構成機器一式・パソコンほか

取得方法

指名競争入札による契約

取得金額

804万9240円

契約相手方

長野県長野市鶴賀七瀬中町276番地6
株式会社電算 代表取締役社長 轟 一太



▲「るぽぼかわさき」新たなスタート



一般会計補正

有害鳥獣対策 処理施設土地取得

■ 提案理由

解体処理施設の建設
用土地購入費として4
61万2000円を追
加するものです。



▲処理施設用地

人事案件

監査委員の選任に同意



おおまつ としじ
大松 敏二 氏
(小野)

任期は、平成29年2月9日から平成33年2月8日まで(4年間)

今から なじよする?

身近な運動の場を



難波 道広さん
(川内北川)

四季折々自然豊かな川崎町は、とても素晴らしく住みよい町だと思います。

川崎町に住むようになり、様々な場面で私たちの助けになつてくれるまちの方々に囲まれて、とても住みよい町だなあと感じます。ただ、車でまちなかを運転していると、歩道や車道の端のほうをウォーキングしている人を見かけると、自分の運動不足を感じる反面、危険な場面に遭遇したり見かけたりもします。



▲気軽に立ち寄れる「ひだまり公園」

そんなときに思うのが老若男女、だれでもいつでも気軽に立ち寄って、汗を流せる広場や遊歩道など憩いの場を身近なところに整備してほしいということです。わざわざ遠くに出かけなくても、お金をかけなくても運動を楽しむ場所が近くにあれば、町の人の安全も守れ、町民の交流の輪も広がると思っています。

自分たちがえがいた町の未来



大宮 星奈さん
(前川東部)

6年生の3学期に、国語の授業で自分たちがえがいた町の未来を議会で発表する予定でした。でも、当日になったら、友達がインフルエンザにかかってしまい、議会へ行けませんでしたので、ここでようやくかいたと思います。

二つのチームに分かれて、題材をあつめ、文章作りに、取り組みました。一つ目のチームの案は、田んぼアートとわらアートです。二つ目のチームの案は花絵です。田んぼアートは、いろいろな種類のいねを用意し、ボラ



▲田んぼアート

ンティアなど呼び、植えます。わらアートは、いねかりが終わった後に残るわらを使って作ります。花絵は、みちのく湖畔公園に植えてあるフェニックスの花絵の中にも花を植えることです。咲きそろった所をみんなで見たい。議会で発表できませんでしたが、ここで発表できてとてもうれしです。

お知らせ

議会を傍聴してみませんか

議員は、議場でどんな発言をしているか、また、どんなまちづくりを考えているか、今後の町の方向性を直接聞くことができる良い機会です。ぜひお越しください。

※次回の会議は6月6日(火)
一般質問は6月7日(水)・8日(木)
午前10時、再開の予定です。

議会ライブ中継 配信中

(傍聴者は1月会議1人、2月会議2人、3月会議16人、ライブ中継は162アクセスでした。)

詳しくは、
議会事務局まで

TEL (0224) 84-2111
(内線1302)

私たちと意見交換を してみませんか

議会では、広く町民と意見を交換する機会を設けています。

希望される方は、議会事務局までお問い合わせください。



町の風景



「神明社 春の祭典」

町民の方々の、町や議会に対するご意見ご要望大募集!!

表紙の説明「わくわくどきどき入学式」

川崎小学校入学式にて

撮影 コラボレーター佐々木和人氏
藤原 義信氏



発行 川崎町議会 編集 議会広聴・広報委員会
〒989-1592 宮城県柴田郡川崎町大字前川字裏丁175-1
TEL (0224) 84-2111・FAX 84-6789
E-mail: kawasaki2@town.kawasaki.miyagi.jp
印刷 株式会社津田印刷